

楽しい公共空間をつくる ～プレイスメイキングから考えるまちづくり～



近年、街路や公園といった公共空間を活用する動きが高まっています。プレイスメイキングやタクティカルアーバニズムもその手法の一つです。歩いて楽しい街路、居心地の良い公共空間とはいったいどのような空間で、どのようにしてつくるのが可能なのでしょうか。今回で第40回を迎える路地奥サロンでは、プレイスメイキングの第一人者である泉山氏をお招きし、プレイスメイキングから考えるまちづくりについてお話しいただきます。

令和3年 11月24日(水)

18:30Start

会場

アルパック大阪事務所大会議室
およびオンライン開催

参加費

無料

※会場：先着申込順10名程度
オンライン：定員上限無し

申込方法

弊社HP若しくは下記URLの申込フォームから
11/23(火)までにお申し込み下さい。
QRコードよりフォームのURLの取得が可能です。

<https://forms.gle/vtqZ18FLB4B865uJ7>

※お申込み出来ない場合は、①氏名②所属③電話番号
④メールアドレスを明記した上、
rojiokusalon.arpak@gmail.comまでご連絡ください。



【主催・問合せ先】

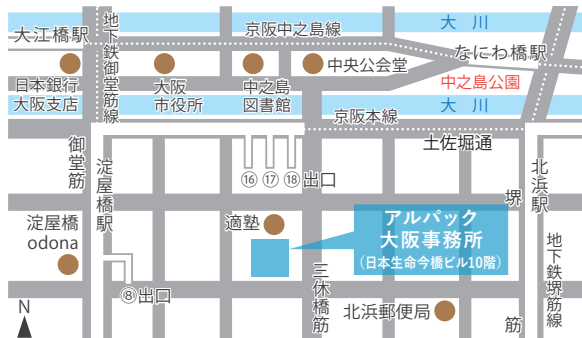
株式会社 地域計画建築研究所(アルパック)大阪事務所
〒541-0042 大阪市中央区今橋3-1-7 日本生命今橋ビル10階
TEL:06-6205-3600 FAX:06-6205-3601
URL <http://www.arpak.co.jp>



講師 泉山 壘威 氏

日本大学理工学部建築学科 助教、一般社団法人ソノバ 共同代表理事
パブリックスペース、タクティカル・アーバニズムやプレイスメイキング、ウォークアブルシティなどの研究・実践・メディア運営に関わる。主な著書に、「タクティカル・アーバニズム：小さなアクションから都市を大きく変える」(編著、学芸出版社、2021年)

アクセス



適塾
路地奥
サロン

21世紀に入り、地域を取り巻く課題はより複雑化、高度化しており、単純なハードとソフトの融合というツールだけでは解決できない状況となっています。アルパックでは、今一度、多方面で活躍されている実践者や研究者の方々による具体的な活動や事業から「まちづくり」を見つめ直し、再定義し、「21世紀型の持続可能なまちづくり」のあり方等について、大阪事務所横の適塾のように「教えあい、学びあう」活発な意見交換を行いたいと考えています。